

森下理事長に聞く!

# ミサワ健保の財政について

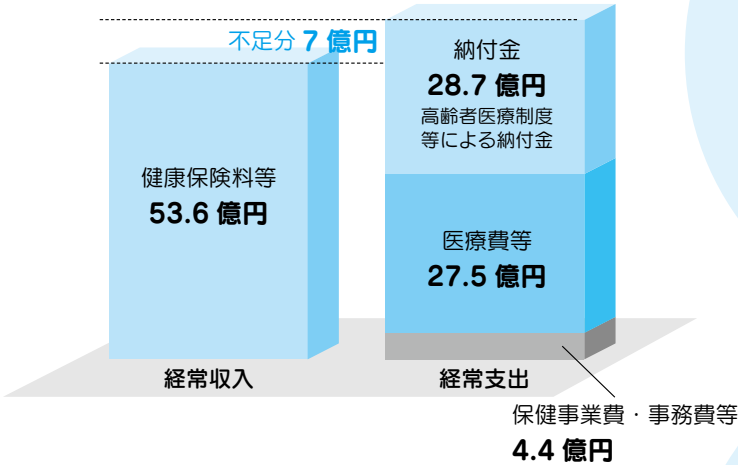
**AO** 平成28年度決算の見込みと、  
29年度の計画を教えてください。

平成28年度は、経常収入55.4億円、  
経常支出56.4億円となり、1億円の赤字  
決算の見込みです。今年度は、経常収入が53.6億  
円と前年度を下回る反面、経常支出は60.6億円と  
拡大するため、保有財産から1億円取り崩す計画  
です。

**AO** ここ数年赤字決算が続いていま  
すが、その原因は何ですか？

急速な少子高齢化により、ここ数年国入  
の納付金の負担が重くなり、収入の約半分  
を医療費、残り半分を納付金だけで使い切っていま  
う状況が続いているためです。不足分は毎年度保有  
財産を取り崩し、保健事業費などに充てています。  
当組合の収入のほとんどは、皆さんからいただいた  
保険料です。この保険料収入を主に皆さんやご家族  
の医療費、国への納付金、そして皆さんの健康づく  
りを推進するための保健事業費として使用しており  
ますが、不足している状況です。

ミサワホーム健康保険組合の収支構造  
(平成29年度計画)



**AO** 「納付金」とは、どういったもの  
なのでしょう？

高齢者医療費の負担金です。いくつか  
種類がありますが、特に負担額が増加傾  
向にあるものが「前期高齢者納付金」です。企業  
を定年退職すると、多くの人は国民健康保険(国  
保)に加入するため、若年者が多く加入している  
健康保険組合などと国保の間で前期高齢者(65歳

**AO** 「前期高齢者納付金」の額は、  
どうやって決まるのでしょうか？

当組合に加入している前期高齢者の方に  
かかった医療費に、国で決められた倍率を  
かけた金額です。倍率は、当組合に加入している前  
期高齢者数などを考慮して決められます。ちなみに  
平成28年度は12倍で、納付金額は約13億円(前期高  
齢者の医療費約1.1億円×12倍)でした。

**AO** かなり負担が大きいですね。

そうですね。どの健保組合も同じ問題  
を抱えています。7割を超える組合が赤字  
に陥っています(\*)。財政難を乗り越え、解散  
を選択する組合も増えてきました。



森下理事長

**Q** そもそも自分で健保組合を保有するメリットがどのくらいあるのか？

**A** 主に3つあります。1つ目は、組合の財政状況に応じて保険料率を設定できることです。現在当組合の保険料率は8.9%ですが、6割を超える健保組合が9%以上の料率を設定しています。\*。2つ目は付加給付です。皆さんやご家族が病気やけが、出産、死亡といった状況を迎えたとき、経済的な支援として、法律で定められた保険給付（法定給付）を受けられることができます。当組合はこの法定給付に上乗せして（付加給付）、皆さんに現金などを支給しています。3つ目は、独自の保健事業です。皆さんの健康状態を十分把握したうえで、皆さんの健康維持・増進に効果的な保健事業を展開することができます。当組合が実施している健康診断や検診の費用補助、健康相談などがこれに当たります。

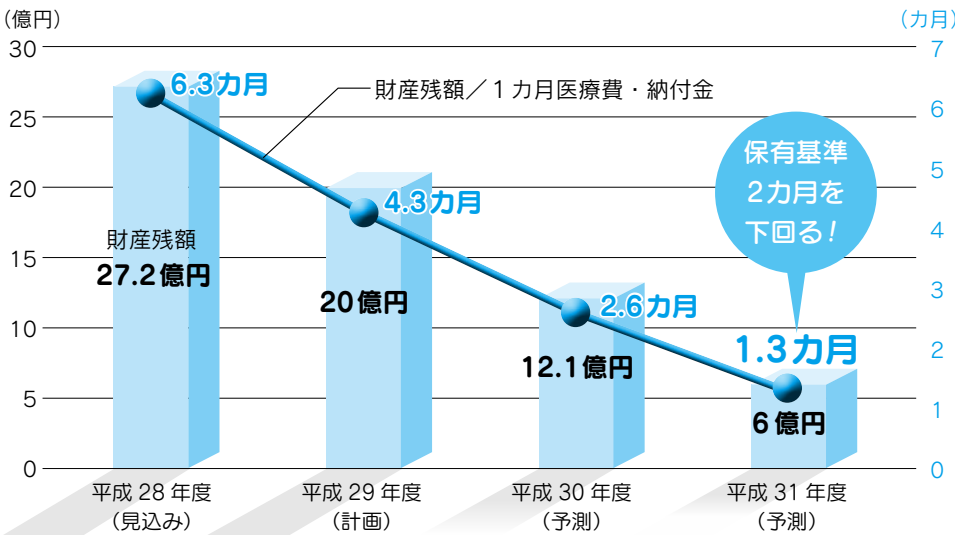
\* 健康保険組合連合会「平成29年度 健保組合予算早期集計結果の概要」より

**Q** ミサワ健保に加入しているからといって、恩恵を受けられるのでしょうか。組合を継続させるために、どのような施策をお考えですか？

**A** まずは保険料率の引き上げです。現行の保険料率8.9%からの引き上げを検討しています。

**Q** 保険料率の引き上げは、避けられないのでしょうか？

**A** 避けられません。組合の収入のほとんどは皆さんからの保険料です。企業のように、借入や増資といった手段で資金を調達することができません。現在、保険料で賄えない



**Q** その他の施策を教えてください。

**A** 先ほど述べた「前期高齢者納付金」の負担額を減らすため、今年度は前期高齢者の方、その予備軍の方の医療費削減をテーマに、事業を展開していきます。新規事業として、前期高齢者の方がだん利用されている薬局の薬剤師による健康相談や、「脳ドック」の費用補助を開始します。

当組合の医療費は、50歳代になって急激に増加する傾向にあることから、今年度に50歳を迎えられる皆さんに、健診結果を分析した冊子「QUPiO（クピオ）」を送付します。50歳の節目の歳に、ぜひご自身の健康状態を知り、元気な状態で年齢を重ねていただきたいと思っています。また若年層の方には、若いうちから健康づくりに関心を持っていただき、当組合が主催する健康イベントへの参加や健康情報を活用していただきたいと思います。

当組合は、皆さんに満足いただける保健事業を展開し、皆さんとご家族の健康づくりを推進してまいります。皆さんには保険料率引き上げにより多大なご負担をおかけしますが、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。